６　研究の実際

1. 「わかる」授業についての研究

３年間の研究テーマのキーワードとなる「わかる」「できる」「かかわる」授業の在り方を受けて、研究１年目の日向地区においては「わかる」「できる」「かかわる」を密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に「わかる」授業についての研究を推進してきた。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地区 | Ｈ２６　日向、東臼杵 | Ｈ２７　日南 | Ｈ２８　えびの |
| テーマ | わかる・できる・かかわる | わかる・できる・かかわる | わかる・できる・かかわる |
| 小中高特  つながり | 小中高特で共通して  「わかる」授業のつながり | 小中高特で共通して  「できる」授業のつながり | 小中高特で共通して  「かかわる」授業のつながり |
| 学習指導  要領 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に  「知識、思考・判断」  「技能」  「態度」 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に  「知識、思考・判断」  「技能」  「態度」 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に  「知識、思考・判断」  「技能」  「態度」 |
| 技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を身に付け、自己や仲間の課題に応じた運動を取り組み方、さらに運動を継続するための取り組み方を育むことができる。 | 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保できる。 | 生涯にわたって運動に親しむことができる基礎的・基本的な技能や動きを身に付けることができる。 |
| 「できる」方法や「うまくなる」道筋がわかること | 仲間と共に運動を楽しむこと | 運動の技能や動きが身に付くこと |

「わかる」授業とは、単に運動に必要な知識や技能を身に付けるだけでなく、「わかる」といった知識と「できる」といった技能を関連させて学習することが大切である。また、基礎的な知識や技能を活用して課題への取り組み方を工夫したり、自己の課題に応じた解決が求められたりする。さらに、人にはそれぞれの違いがあることを承知した上で、仲間の技能の程度にかかわらず、仲間と課題を共有して互いに助け合ったり教え合ったりする学び合い活動といった「かかわり」が大切である。このようなことから「わかる」「できる」「かかわる」はバランスよく相互に関り合い、児童・生徒の発達の段階に応じて変化していくと捉えることができる。

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を身に付けるためには、各領域及び運動種目等における技能や攻防の様相、動きの様相との関連に留意し、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わわせながら、運動に親しむ資質や能力を育てる必要がある。